



成人矯正患者における MFT の取り組み MFT 『MFT in adult orthodontic patients』

銀座並木通りさゆみ矯正歯科デンタルクリニック 81
寺田 典絵

マウスピース型カスタム矯正装置や舌側矯正装置の普及に伴い、成人矯正患者が急増している現状の今、矯正治療を円滑に行う上で、安静時舌位は大変重要であり、舌癖のコントロールは必要不可欠と考えられております。また、治療のどのタイミングで、必要なレッスンをどう選択するかも重要なポイントであり、MFT 指導者のハードルも高くなってきています。

通院のタイミング、矯正歯科治療とのアポイントの取り方（時間配分）、モチベーションの継続など、小児を中心に MFT を行ってきた時とは違う対応を求められることも増えてきており、MFT の環境整備も難しくなっている現実があります。

光学印象採得を円滑に行うには？

舌側矯正患者に必要なレッスンとは？

など、MFT 指導者たちは試行錯誤を繰り返し、日々切磋琢磨しております。しかし、まだまだ多くの疑問を抱え？マークを残しながら毎日の臨床を過ごしております。もちろん私もその 1 人です。

そこで今回は、日頃臨床に携わっているセラピストの生の声を出し合い、お互いに日頃感じている思い、疑問を共有し、どのような MFT を行っているかを話していただく中で、日々の MFT 臨床へのヒントへとつなげてゆく時間にしたいと考えております。

患者さんのため、そしてもちろん私たち MFT 指導者のためにはどうしたらよいのか？
私と一緒に探してください。